

目次

.....
【1】 --- 本学発の論文新着速報 (2019 年 7 月・8 月分)
.....

【2】 --- 「DynaMedPlus」が「DynaMed」にリニューアル
.....

【3】 --- 「Hematology 2018」にアクセスできます (11/30 まで)
.....

【4】 --- EndNote 無料オンラインセミナー
.....

[Book Review] ・ ・ ・ 編集後記にかえて

【1】 --- 本学発の論文新着速報 (2019 年 7 月・8 月分)
.....

京都府立医科大学発の学術論文(PubMed 収載)のうち、2019 年 7 月・8 月発行分のものについて、お知らせします。(160 件)

◆ ↓ 次の URL をクリックしてください ↓ ◆

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/sites/myncbi/1FS3cNp9hWvAN/collections/58852225/public/>

こちらの情報は以下の抽出条件のもと月に 1 回お知らせしています。

①直近 2 ヶ月分

②論文の著者が本学所属

(筆頭著者でない場合には抽出されないこともあります。)

【2】 --- 「DynaMedPlus」が「DynaMed」にリニューアル
.....

この夏、EBM 情報を収録した臨床診療サポートツール「[DynaMed](#)」がリニューアルされました。

検索トップ画面を刷新し、キーワード検索に加えて領域ごとにトピックを確認できるよ

うになりました。また、個人アカウント機能が強化され、閲覧履歴やフォローするトピックのアラート設定など、多忙な臨床医が日々の診療、治療の現場で生じた疑問を素早く正確に解決することを可能にします。

詳しくは以下のガイドをご参照下さい。

- 1) [DynaMed オンライン版ガイド](#) (PC 等からのアクセス)
- 2) [「個人アカウント」の登録と DynaMed モバイルアプリのインストール\(+認証\)](#)
について → アプリのコンテンツダウンロードにはダウンロードする容量やネット環境等の影響で、30 分以上時間が掛かる場合があります。

[3] --- 「Hematology 2018」にアクセスできます (11/30 まで)

本学では購読していないため、通常では発行後 1 年経過しないと読めない「[Hematology 2018](#)」が「Blood」購読機関に無料で提供されています。

「Hematology」は、年に一度発行されるレビュー誌です。2018 年は ASH Education Program のスピーカーと Ham-Wasserman 講師によって書かれた 96 の記事、6 つのエビデンスに基づくミニレビュー、および 700 を超えるフルカラーページの査読付きコレクションが掲載されています。

2018 年のインパクトファクター : 2.497

フリーアクセスは 11/30(土)まで。

[4] --- EndNote 無料オンラインセミナー

ユサコ株式会社が提供する EndNote 研修の案内です。
場所を問わず気軽に参加できるオンラインセミナー。よろしければご利用ください。

日時 : 2019 年 9 月 13 日(金)17:00-18:00 (60 分)

2019 年 9 月 26 日(木)17:00-18:00 (60 分)

内容 : EndNote を使い始めよう!

- 製品インターフェース紹介・用語解説
- EndNote と言えばコレ! -投稿規程に合わせた参考文献リスト自動作成-
- EndNote に文献を保存 -PubMed, PDF から文献情報を取り込む-

- EndNote で PDF をカンタン整理 -PDF 自動ダウンロード, PDF 添付-
最新版 EndNote X9(Windows)を使って、基本操作(文献収集・管理, 論文作成支援) を説明。これから EndNote を使い始める方や, 基本操作に慣れていない方にオススメとのこと。

▼オンラインセミナー詳細・お申し込みは[こちら](#)

▼オンラインセミナーに関するお問い合わせは [ユサコ株式会社 e コマースグループ](#)

[Book Review]

山口良治 平尾誠二著『気づかせて動かす』PHP 研究所 (2003 年)

この本は元伏見工業高校ラグビー部監督 山口良治氏と、Mr.ラグビーこと平尾誠二氏との対談である。

「京都一のワル」といわれた山本清悟が入学してきた時、山口監督は「おまえケンカに自信があるらしいが、ラグビーはルールあるケンカやぞ」とラグビー部へ誘う。彼はラグビー部で強くなり二年生で高校ジャパンの代表となった。

山口「三年生のときも高校生ジャパンに選ばれて、イングランド遠征に行った。遠征ではホームステイをするから、これが二回目のホームステイ。ところが、英語の成績が『1』だった(笑)。ぼくは、その英語の先生と話したよ、『先生は自分が教えた英語で生徒に何を経験させたいのですか？清悟は一カ月近くも英語の国へ行って、ホームステイしながら生活してきたんですよ。それでも、その真実は先生にとって何の評価にもならないんですか？』って…そしたら『2 にするから…』って (笑)。そんな清悟が、卒業後はぼくの母校の日体大に進学して、いまでは高校の先生だよ。『他界してるか、檻に入ってるか』と思われていた、あの清悟がね」

この箇所を読んだ時、なぜかすごく笑いがこみ上げてきた。じーんとくるような気持ちのいい笑いが…。

もうすぐラグビーワールドカップが日本で初めて開催される。

幾人ものラグーマンといくつものつみ重ねがあつての日本開催であることを忘れてはならないと思う。(A.M) (京都府立図書館所蔵 K-Libnet で貸出が可能です。)

KPUM Library Booklog : <http://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/4569629911>

※「K-Libnet」は 2018 年 4 月から始まった京都府内公共図書館等との相互貸借サービスで

す。詳しくは[こちら](#)をどうぞ

.....
図書館メール News 第 396 号 2019.9.13 発行 (隔週金曜日発行)

編集・発行 : 京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.a

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....
(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/webservice/mailnews.html>